

あいち環境イノベーションプロジェクト応募要領

愛知県では、環境と経済が好循環する「環境首都あいち」の実現に向けて、積極的な施策を推進しています。

近年、地球温暖化によるものと言われる異常気象の影響や海洋汚染、種の絶滅の加速など、地球環境の悪化は深刻さを増しており、カーボンニュートラルの実現やサーキュラーエコノミーへの転換、ネイチャーポジティブの達成といった環境分野の課題解決に向けた対応が必要となっています。

スタートアップを始めとする企業においては、革新的な技術や新しいアイデアが次々と開発・考案されており、こうした技術・アイデアを有するスタートアップ等と連携して、愛知発の環境イノベーションを創出・実装していくことが不可欠です。

そこで、新たな革新的プロジェクトの創出に向けて、エネルギーの利用・創出モデル等のテーマを掲げ、全国のスタートアップ等から革新的な技術・アイデアを募集します。

採択されたプロジェクトは、マッチングなどの様々な伴走支援を実施するとともに、産学官金で構成される「あいち環境イノベーションコンソーシアム」（以下「コンソーシアム」という。詳細は 4. 応募方法に記載する特設 WEB ページをご覧ください。）を連携・協働のプラットフォームとして実装に取り組んでいきます。

なお、今回受け付けた提案は、すべてのコンソーシアム会員に提案内容の概要を提供します。

1. 応募資格

全国のスタートアップ等（新規事業を立ち上げる企業※、大学を含む。）

ただし、愛知県暴力団排除条例（平成 22 年 10 月 15 日愛知県条例第 34 号）に規定する暴力団員又は暴力団若しくは暴力団と密接な関係を有する者でないこと

※ 企業は、大企業・中小企業を問いません。また、法人のほか個人事業主を含みます。

2. 募集内容

以下の 6 つのいずれかのテーマについて、革新的な技術・アイデアを募集します。

（各テーマの取組例は別紙 1 参照）

テーマ 1：エネルギーの創出・利用モデル

テーマ 2：温室効果ガスの吸収・利用等によるカーボンリサイクルモデル

テーマ 3：県民・事業者と共に進める持続可能な社会の実現モデル

テーマ 4：域内資源の有効利用を通じたサーキュラーエコノミー型ビジネスモデル

テーマ 5：自然が持つ価値の見える化モデル

テーマ 6：その他環境課題に対する革新的モデル

3. 募集期間

2025 年 5 月 27 日（火）～ 7 月 25 日（金）まで

4. 応募方法

(1) 概要

以下の特設 Web サイト及び本応募要領の内容を確認の上、Web サイト内にある応募フォームから、技術・アイデアの概要、これを活用した事業計画などの必要事項（別紙 2 参照）を入力するとともに必要な資料の提出等を行ってください。

[あいち環境イノベーションプロジェクト特設 Web サイト]

URL : <https://env-innovation.pref.aichi.jp>

(2) 注意事項

- ア 一者が複数の提案をすることも可能です。ただし、同一の技術・アイデアに基づく事業計画について複数提案を行う場合、提案件数としては複数であっても 1 件とみなします。
- イ 複数のスタートアップ等による共同提案も可能です。その場合は、事業全体の管理責任者として、代表 1 者を主提案者としてください。
- ウ 協力関係にある企業等から、同一内容の提案を別々に重複して応募しないようにしてください。
- エ 提案内容によっては、テーマや事業計画等の変更を御検討いただく可能性があります。

5. 公募説明会

応募資格や募集内容、応募方法等について説明する応募説明会を Web 上で開催します。

[日 時] 2025 年 6 月 10 日（火）14 時～15 時

[方 法] Zoom Webinar

[申込方法] 特設 Web ページでの事前登録

[そ の 他] ・公募説明会への参加は、あいち環境イノベーションプロジェクトへの応募に必須ではありません。

・後日、アーカイブを特設 Web ページに掲載します。

6. 審査

御応募いただいた技術・アイデアは、審査委員会において、革新性や必要性、共創性等の項目を評価し、4 件程度を採択します。

審査にあたっては、審査委員会において、提案者によるプレゼンテーション及び審査委員によるヒアリングを行います。プレゼンテーション及びヒアリングの日時・場所・方法については、別途連絡します。

なお、提案者が多数の場合には、愛知県において、評価項目に基づく書類審査を行い、審査内容を審査委員に諮ったうえで、得点上位者をプレゼンテーション及び

ヒアリングの対象とします。

審査委員会は非公開とし、審査の経過等審査に関する問い合わせには応じません。

プレゼンテーション及びヒアリングへの参加に係る一切の経費については、提案者の負担とします。

(1) 審査委員会（敬称略）

- ・名古屋大学 教授 松田 亮太郎
- ・公益財団法人名古屋産業科学研究所
中部 T L O ビジネスコンサルタント 後藤 和昌
- ・株式会社 X Futures 代表取締役 丸山 太一郎
(中小企業基盤整備機構 中小企業アドバイザー)
- ・株式会社環境エネルギー投資 取締役 宇田 直樹
- ・愛知県環境局 技監 平野 淳一

(2) 評価項目

基本項目	革新性	・ 全国初、都道府県初など新規性や独自性があるか。 ・ 優位性があるか（他者にはない技術・アイデアとなっているか）。
	必要性	・ 愛知県特有の環境課題の解決又は全国的な環境課題の先導的な解決を図る事業若しくは愛知県の強みを活用して環境課題の解決を図る事業であるか。
	共創性	・ 事業の構成員の役割分担が明確かつ適切か。 ・ 成果の高度化など、構成員による共創の効果が発揮される事業であるか。
	実現性	・ 提案者自身が主たるプレーヤーとして技術・資金・人材等を投入して事業を推進するか。 ・ 社会実装までのスケジュールが明確になっているか。 ・ 経済的な自立性など事業自体に持続可能性が備わっているか。
	インパクト	・ 事業の成果として、環境課題に向けてどのような好影響や変化が生じるか、明確かつ具体的に描けているか。 ・ 事業の成果を国・地域の内外を問わず波及することが見込めるか。
特別項目	地域の環境課題の解決力	・ コンソーシアム会員が抱える地域の環境課題やニーズ※の解決を見据えた事業であるか。 (該当している場合は加点とするが、該当することが採択要件ではない。) ・ 地域の環境課題の解決に向け、特に評価すべき提案であるか。

※ 6月27日（金）に開催するリバースピッチイベントで発表し、その後、アーカイブを特設WEBページに掲載します。イベントの開催情報等については、別途公表しますので、特設Webページをご覧ください。

7. 伴走支援

採択された提案の事業化に向けて、提案者や愛知県、専門家、パートナー企業等で構成されるワーキンググループ（以下「WG」）を設置し、技術・アイデアの実証など事業化のための伴走支援を実施します。

(1) 支援内容

ア 県内企業とのマッチング支援

スタートアップ等が事業化に向けて新たにパートナー企業を必要とする場合に、県内で候補となり得る事業者（民間事業者、県内市町村、大学等）との紹介・マッチングを行います。

イ プロジェクトの事業化に係る経費支援

採択された事業の事業化に係る経費支援を行います（1件あたり最大 200 万円）。

なお、支援対象となる経費は、人件費や交通費、会議費等事業化に必要な費用一切を含みます。

ウ 実証フィールドの提供・紹介

技術・アイデアの有効性等を検証するために実証フィールドを必要とする場合、提案者と相談の上、愛知県が保有するフィールドの提供や、市町村や県内企業等が保有するフィールドの紹介・マッチングを行います。

エ 各種支援制度の案内・申請支援

国等の各種補助・助成制度の紹介や申請支援、スタートアップ支援プログラムの紹介等を行います。

オ 専門家による支援

知的財産権等の整理、市場ニーズの把握、事業計画のブラッシュアップなど、専門家による助言を行うとともに、名古屋大学を始めとする大学等と連携し、学識者の紹介、利用可能な設備やノウハウ等の提供を行います。

また、事業化に向けて各種許認可が必要になる場合には、許認可の取得に向けた申請・調整に協力します。

カ 取組内容や成果のPR

取組の内容と成果について、連携交流促進会や成果報告会、特設 Web サイト、各種イベント等において発信・PRを行います。

なお、公開内容や公開可否については相談の上調整します。

キ その他

ア～カの他、可能な限りの支援を行いますので、愛知県又は事務局に御相談ください。

(2) 支援期間

提案採択後から 2028 年 3 月まで（約 2 年半）

なお、2027 年 3 月時点で、プロジェクトの進捗を評価し、著しく進捗が遅れているなどプロジェクトの実現の見込みがないと判断された場合、支援を終了しま

す。

8. 留意事項

- 応募フォームに御記入いただいた内容や御提出いただいた資料は、あいち環境イノベーションプロジェクトの審査及び「10. コンソーシアム会員との情報共有」以外に利用することはありません。
ただし、審査にあたり、ステークホルダーの意見を聴取するため、提案者に相談・協議の上、提案内容を他のステークホルダーと共有する可能性があります。
- 採択された提案者は、連携促進交流会や成果報告会への参加やプレゼンテーション等をお願いすることがあります。
- 採択された提案者は、愛知県又は事務局のヒアリングやアンケート調査等に協力いただくようお願いします。
- 御提案いただく事業は、愛知県の環境課題の解決に資するものである必要がありますので、愛知県内で実施されることを想定しています。
- 事業化に向けた諸活動により得られる知的財産権は、提案者やパートナー企業等の提案者側に帰属するものとし、愛知県又は事務局（県事業委託先）に帰属することはありません。

9. スケジュール

2025 年 5 月 27 日（火）	公募開始
6 月 10 日（火）	公募説明会
6 月 27 日（金）	リバースピッチイベント（※1）
8 月下旬	審査
9 月中下旬	採択
2026 年 1 月頃	連携促進交流会（※2）
3 月頃	成果報告会（※3）
2027 年 1 月頃	連携促進交流会（※2）
3 月頃	事業進捗報告会（※4）
～2028 年 3 月	（※5）

※1 スタートアップ等に向けて、コンソーシアムの企業や自治体が自らの課題やニーズを発信し、連携・協働の可能性を探る取組

※2 採択者やパートナー企業、愛知県、大学、研究機関、金融機関等との連携を促進するための交流会

※3 採択者等が他の企業や投資家等からの協力を得ることを目的に、WGにおける取組内容等を発信するための報告会

※4 WGにおける取組内容等を発信するとともに、事業の進捗評価を行うための報告会

※5 支援期間は、2028 年 3 月までを一旦の区切りとしています。

10. コンソーシアム会員との情報共有

今回受け付けた提案は、審査委員会の評価に関わらず、すべてのコンソーシアム会員に提案内容の概要を提供し、提案者と会員との連携・協働の可能性を掘り下げます。

＜具体的な手続き＞

公募締切後、応募フォームに記載いただいた提案者名、本社所在地、事業概要を愛知県からコンソーシアム会員に提供し、提案に対する関心の高さや提案者との意見交換の希望の有無を照会します。

コンソーシアム会員から意見交換の希望があった場合、愛知県から提案者にその旨を伝え、提案者の希望に応じて意見交換の場をセッティングします。

※コンソーシアム会員との連携・協働を望まない場合は応募フォームのチェック欄にチェックをいれてください。

11. 問い合わせ先

担 当：愛知県環境局環境政策部環境政策課環境イノベーション推進グループ

住 所：愛知県名古屋市中区三の丸三丁目 1 番 2 号

電 話：052-954-6982（ダイヤルイン）土日祝を除く午前 9 時～午後 5 時 30 分

メール：kankyo@pref.aichi.lg.jp

＜事務局（県事業委託先）＞

担 当：デロイトトーマツベンチャーサポート株式会社

住 所：東京都千代田区丸の内 3 丁目 2-3

電 話：080-7973-2950 土日祝を除く午前 9 時～午後 5 時 30 分

メール：aichi-environment@tohmatu.co.jp

テーマ	取組例
1. エネルギーの創出・利用モデル	工場等における未利用エネルギー有効活用
	再生可能エネルギー領域のイノベーション
	施設内におけるエネルギー利用の高度化
2. 温室効果ガスの吸収・利用等によるカーボンリサイクルモデル	二酸化炭素の回収・利用
	水素と二酸化炭素から都市ガスの主成分であるメタンを合成するメタネーション
3. 県民・事業者と共に進める持続可能な社会の実現モデル	二酸化炭素排出量の算出・可視化
	先進的な熱中症対策
4. 域内資源の有効利用を通じたサーキュラーエコノミー型ビジネスモデル	再生利用困難物の資源循環
	画像解析・AI 等の最新技術を活用した資源循環
	カーボンニュートラルにも貢献する資源循環
	利用先が限られる再生材の用途開発
5. 自然が持つ価値の見える化モデル	ドローン・衛星画像等を活用した動植物のモニタリング
	カーボンニュートラルにも貢献する自然分野の計測
6. その他環境課題に対する革新的モデル	排ガス・排水の浄化システムの高度化
	残留性有機汚染物質の分離・回収の高効率化
	地域特性に適した栄養塩の管理技術
	土壌汚染物質の効果的な除去技術
	マンション・ビル等における木材利用
	藻場再生等によるブルーカーボンの創出

大項目	小項目	備考
提案者 基本情報	提案者名（法人名等）	
	創業年（西暦）	
	本社所在地	
	愛知県下拠点	
	従業員数	
	代表者職氏名	
	担当者 所属・役職	
	担当者氏名	
	担当者電話番号	
	担当者メールアドレス	
	会社概要	300 文字以内
	事業者 HP・サービス URL	
	過去の資金調達実績・受賞歴	該当あれば
提案内容	コンソーシアム会員への情報提供	情報提供を希望の有無
	テーマ	
	事業名称	
	事業概要	80 字以内
	提案内容	
	P R ポイント（革新性）	
	P R ポイント（共創性）	
	P R ポイント（実現性）	
	P R ポイント（インパクト）	
	P R ポイント（地域の環境課題の解決力）	リバースピッチイベントで発表したコンソーシアム会員の課題・ニーズを見据えた場合は該当するテーマにチェックをつける
	P R ポイント（地域の環境課題の解決力）のテーマに該当する理由	
	実施体制	
	連携パートナー候補	
	事業スケジュール	
	必要経費	初年度の経費、2028 年 3 月までに必要な経費
	県に対する期待	
	補足資料	